

Quest[®] NetVault[®] Plug-in for VMware 13.1.2

リリース・ノート

2023年1月

本リリース・ノートには、Quest[®] NetVault[®] Plug-in for VMware のリリースに関する情報が記載されています。

トピック：

- このリリースについて
- 既知の問題
- システム要件
- 製品ライセンス
- アップグレードおよびインストールの手順
- その他のリソース
- グローバリゼーション
- 弊社について

このリリースについて

Quest NetVault Plug-in for VMware (Plug-in for VMware) 13.1.2 は、拡張機能が含まれたマイナーリリースです。製品の詳細なドキュメントは下記サイトからご覧いただけます。<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents>

既知の問題

サードパーティ製品に起因する問題を含め、リリースの時点で確認されている問題の一覧を以下に示します。

表 1. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
データを代替のデータストアにリストアする際、プラグインがそのデータストアの使用の可・不可を確認しません。データストアが使用できる状態で、仮想マシンを格納する十分な空き容量があるか確認してください。	DNVMWARE-18 (1714)
vmware.cfg ファイルに格納されている [Custom:MountOperationTimeoutSecs] 設定は、マウント・デーモンが要求に応答するまでの待機時間を決定します。新規インストール中は 600 秒、アップグレード中は 300 秒に初期設定されています。指定時間内にマウント・デーモンが要求を完了できない場合、仮想マシンがマウント状態のままになります。 同時に実行するバックアップ数が多い、またはサーバーの負荷が高い場合は、 [Custom:MountOperationTimeoutSecs] 設定の値を変更して、この問題を回避してください。	DNVMWARE-505 (3131)
VDDK (Virtual Disk Development Kit) では、UTF-8 以外のロケールには対応していません。UTF-8 以外のロケールを使用する Linux ベースのクライアントでは、「Child Process died unexpectedly」エラーを報告して異常終了します。	DNVMWARE-584 (3340)
Plug-in for VMware を使用して仮想マシンのテンプレートをバックアップできません。 対処法 ：テンプレートを仮想マシンに変換します。	DNVMWARE-713 (13728, VMW-202)
ファイル・レベルのインデックス作成プロセスではシンボリック・リンクのインデックスは生成されません。	DNVMWARE-977 (21793)
ファイル・レベルのインデックス作成プロセスでは、ハード・リンクは特殊な方法では処理されず、それぞれ独立したエンティティとしてインデックス・エントリが生成されます。ハード・リンクを含むセーブセットをリストアすると、プラグインは応答しなくなります。	DNVMWARE-978 (21794)
NTFS スパース・ファイルをリストアする場合、実際に割り当てられているデータ実行のサイズがデータ実行の合計サイズより小さいと、リストアされるファイルが破損する可能性があります。	DNVMWARE-1456 (29043)
メモリーが超過すると、ABM (Active Block Mapping) が有効になっているバックアップが停止することがあります。	DNVMWARE-1584
vSphere FT (VMware vSphere Fault Tolerance) で保護されている仮想マシンは別の VMware vCenter Server へはリストアできません。	DNVMWARE-1691 (32398)
VMDK (Virtual Machine Disk) のオープンに失敗し、 [データディスクを除外] オプションが選択されている場合、仮想マシンのバックアップに成功します。	DNVMWARE-1696
インベントリビューを切り替えると、 [セットの編集] および [セットのクローン (Clone Set)] 操作でセレクションセットがグレー表示になります。	DNVMWARE-1900
注意 ：元の場所へのリストアを中止すると、元の仮想マシンが削除されます。この問題により、データが失われるおそれがあります。 対処法 ：元の場所へのリストアを開始する前に、元の仮想マシンのクローンを作成します。	DNVMWARE-1906

表 2. サードパーティの既知の問題

既知の問題	問題 ID
<p>VMware vCenter Server から電源がオン状態の仮想マシンをバックアップすると、「.nvram」、「.vmx」、および「.log」ファイルのバックアップに失敗することがあります。詳しくは、http://kb.vmware.com/kb/1019286 を参照してください。</p>	
<p>シン・プロビジョニングのディスクを使用する仮想マシンでスナップショットを作成する際、VMware vSphere（クライアントと基盤のディスクライブラリ）ではディスクをシックとして認識します。詳しくは、http://kb.vmware.com/kb/1020137 を参照してください。</p>	
<p>仮想マシンの CBT を有効にする時点で、仮想マシンにはスナップショットがない状態ではなければなりません。詳しくは、http://kb.vmware.com/kb/1033816 を参照してください。</p>	
<p>ESXi 5.x のホストを vCenter Server で管理している場合は、仮想マシンが直接 ESXi ホストに接続されているときに仮想マシンのリストアを行わないでください。この制約は vSphere 5 で導入された機能によるものです。詳しくは、http://www.vmware.com/support/developer/vddk/VDDK-500-ReleaseNotes.html#knownissues を参照してください。</p>	
<p>バックアップやリストアのため仮想マシンのディスクにアクセスが行われているあいだ、仮想マシンの移行が行われないようにするため、プラグインでは VDDK API を使用して仮想マシンのロックとロック解除を行います。このオプションはデフォルトでは無効になっています。有効にするには、プラグインの『ユーザーズ・ガイド』を参照してください。現在、ロック機能には、次の既知の問題があります。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 仮想マシンのロックは、API でロックの成功が表示されていても、実際には成功していないことがあります。この問題は VMware で確認中です。このエラーは通常、無視して構いません。 • ロックの解除が失敗することがあるのは既知の問題です。この問題は VDDK 5 のリリース・ノートに記載されています。詳細については『VDDK 5.0 リリース・ノート』の「EndAccess sometimes does not reenale migration after PrepareForAccess」セクションを参照してください。 • 仮想マシンのロック後にプラグインが予期せず終了すると、仮想マシンがロックされた状態のままとなる可能性があり、移行が無効になります。 仮想マシンのロックを削除して移行を有効にする方法については、http://kb.vmware.com/kb/2008957を参照してください。 	
<p>Windows 2012 の仮想マシンでは、ネットワークコピー操作中または操作後にデータの破損が発生することがあります。詳しくは、http://kb.vmware.com/kb/2058692 を参照してください。</p>	

システム要件

Plug-in for VMware をインストールする前に、お使いのシステムが次の表および『Quest NetVault 互換性ガイド』（<https://support.quest.com/technical-documents> で入手可能）に記載された要件を満たしていることを確認してください。

表 3. システム要件

要件	詳細
オペレーティング・システム	対応 OS のディストリビューションとバージョンの一覧については、『VDDK 7.0.3 リリースノート』を参照してください。
NetVault のバージョン	Plug-in for VMware 13.1.2 には、NetVault 13.1 以降が必要です。 メモ： 以下の事項に注意する必要があります。 <ul style="list-style-type: none">以前のバージョンのプラグインで分散ジョブ機能（バージョン 12.0 以降で追加された機能）を使用していた場合、拡張機能を利用するには、NetVault サーバおよびクライアントソフトウェアを 13.1.2 にアップグレードし、プラグインを更新する必要があります。バージョン 12.0 から 12.3 までのプラグインを使用して作成され、分散ジョブ機能を使用していた既存のバックアップジョブは、引き続き作成時と同じように機能します。 対応プラットフォームに関する情報については、『QuestNetVault 互換性ガイド』を参照してください。 https://support.quest.com/technical-documents でご覧いただけます。
パッケージ	Windows オペレーティングシステムでは、Plug-in for VMware 13.1.2 には Microsoft Visual C++ 2017 以降が必要です。 このパッケージを使用せずにプラグインを使用すると、「プラグインへの接続を取得できませんでした」というエラーが発生します。

i | **メモ：**VDDK を OEM ESXi で使用するには、VMware ESXi Foundation、Standard または Enterprise のライセンスが必要です。このライセンスは、OEM または VMware から直接取得できます。

アップグレードと互換性

Plug-in for VMware 13.1.2 には、NetVault 13.1 以降が必要です。サポートされるプラットフォームの詳細については、『Quest NetVault 互換性ガイド』を参照してください。

- NetVault のアップグレード後、マウントしている仮想マシンを参照できません：**プラグインのインストール後に NetVault ソフトウェアをアップグレードした場合は、そのマシンにプラグインを再インストールする必要があります。再インストールを行わない場合、新しいファイルレベル・バックアップのマウントされた仮想マシンのドライブ・ノードを開くことができません。
- アップグレード中に「nvvmwmount.exe」が実行されていた場合は NetVault サービスを再起動します：**2.X からのアップグレードの際、「nvvmwmount.exe」マウント・プロセスが実行されていた場合は、クライアントで NetVault サービスを再起動します。

製品ライセンス

NetVault サーバー環境でライセンス・キーを取得するには、メイン NetVault サーバーの NetVault マシン ID を確認します。また、Oracle や MySQL、PostgreSQL、SQL Server、Exchange などのアプリケーション・プラグインを実行しているクライアントのマシン ID も確認する必要があります。

NetVault 設定ウィザードを使用して、製品のライセンス・キーをインストールできます。代わりに [クライアント管理] ページからライセンス・キーをインストールすることもできます。

- マシン ID の取得
- 設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール
- [クライアント管理] ページからのライセンス・キーのインストール

マシン ID の取得

- 1 NetVault WebUI を起動します。
- 2 [ナビゲーション] パネルで、[クライアント管理] をクリックします。
- 3 [NetVault Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 4 [クライアント表示] ページで、マシン ID と正確に同じものが [クライアント・サマリ] テーブルに表示されます。

設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション] パネルで、[ガイド付き設定] をクリックします。
- 2 [NetVault 設定ウィザード] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 3 [NetVault Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンス・キー文字列の入力] ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。

[クライアント管理] ページからのライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション] パネルで、[クライアント管理] をクリックします。
- 2 [NetVault Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 3 [クライアント表示] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 4 [ライセンスのインストール] ダイアログ・ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。
- 5 ダイアログを終了するには、[閉じる] をクリックします。

アップグレードおよびインストールの手順

プラグインの標準的なアップグレード方法は、プラグインの旧バージョンに対して最新バージョンをインストールする方法です。インストールの手順については、『Quest NetVault Plug-in for VMware ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

Windows でプラグインのハイブリッド・バージョンをアップグレードするときに、ファイル・レベルのバックアップ操作にプラグインを使用するには、次の作業を記載の順序で実行してください。

- 1 ファイル・レベルの参照またはバックアップ操作に仮想マシンがマウントされていないことを確認します。
ブラウズ・セッションでマウントされている仮想マシンがある場合はアンマウントします。バックアップにマウントされている場合は、バックアップの完了まで待ちます。
- 2 NetVaultProcess Viewer から、クライアントで実行している **NetVault VM マウント・デーモン** や **NetVault VM マウント CLI** のインスタンスがないか確認します。
または、Windows タスク・マネージャを使用して、実行している **nvvmwmount.exe** インスタンスがないか確認します。実行しているインスタンスがある場合は、NetVault サービスを再起動します。
- 3 プラグインに設定されている作業ディレクトリに仮想マシンの表示名を使用した名前のサブフォルダが含まれていないことを確認します。
ディレクトリにマウント・フォルダが含まれている場合は、フォルダを手動で削除します。詳しくは、『ユーザーズ・ガイド』を参照してください。クリーンアップのルーチンを完了できなかった場合は、次のマウント操作が失敗し、「A stale mount was found.」エラーが表示されます。
- 4 アップグレード中に「Driver not found」エラーが発生しないようにするには、**アップグレード手順**で説明している手順に従います。

アップグレード手順

VDDK は、ファイル・レベルのバックアップや参照操作の実行中は仮想マシンのマウントにカーネル・モードのドライバを使用します。プラグインをインストールすると、Plug-in for VMware はドライバのサービスを自動的に起動しますが、アップグレードや再インストールを実行する際にサービスが実行されているかどうかは確認しません。

このサービスがクライアントで実行されていない場合、プラグインはマウント要求の完了に失敗するため、「Driver not found」エラーを報告します。

Windows でプラグインのハイブリッド・バージョンをアップグレードする

- 1 コマンド・プロンプト・ウィンドウを開きます。
- 2 サービスが実行中の場合は停止します。

```
sc stop vstor2-mntapi20-shared
```
- 3 サービスを削除します。

```
sc delete vstor2-mntapi20-shared
```
- 4 サービスが削除されたことを確認します。

```
sc query vstor2-mntapi20-shared
```


サービスが「停止」状態のままになっている場合は、マシンを再起動します。
- 5 プラグインをインストールします。

プラグインのインストール方法については、『Quest NetVault Plug-in for VMware ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

その他のリソース

以下から追加情報を入手できます。

- [オンライン製品ドキュメント](#)
- [NetVault コミュニティ](#)

グローバル化

ここでは、北米以外の地域のお客様に必要な、この製品を英語以外の言語設定でインストールして構成する方法を説明します。このセクションで説明する内容は、他の製品マニュアルに記載されているサポート対象プラットフォームや設定などの情報に代わるものではありません。

本リリースでは、シングル・バイトまたはマルチ・バイトのあらゆる文字セットに対応しています。多言語データを使用した同時操作にも対応しています。このリリースを利用できる対象地域は次のとおりです。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

NetVault Plug-in for VMware 13.1.2 は、英語版、日本語版、韓国語版、中国語版が用意されています。

弊社について

Quest は、急速に変化する企業 IT の世界にソフトウェア・ソリューションを提供します。データの急増、クラウドの拡張、ハイブリッド・データセンター、セキュリティの脅威、規制要件によって生じる課題を簡素化することができます。弊社は、Fortune 500 の 95% の企業および Global 1000 の 90% の企業など、100 か国におよぶ 130,000 社にサービスを提供するグローバルプロバイダーです。1987 年以来、データベース管理、データ保護、ID およびアクセス管理、Microsoft のプラットフォーム管理、統合エンドポイント管理などのソリューションのポートフォリオを構築してきました。Quest により、組織は IT 管理に費やす時間を短縮し、ビジネスの革新に費やす時間を増やすことができます。詳細については、<https://www.quest.com/jp-ja/> を参照してください。

テクニカル・サポート用リソース

テクニカル・サポートは、Quest の有効な保守契約を締結している場合、または試用版を保有している場合にご利用いただけます。Quest サポート・ポータル (<https://support.quest.com/ja-jp>) にアクセスすることができます。

サポートポータルには、問題を自主的にすばやく解決するためのセルフヘルプツールがあり、24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート・ポータルでは次のことを実行できます。

- サービス・リクエストの送信と管理。
- ナレッジベース記事の参照。
- 製品に関するお知らせへの登録。
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード。
- 入門ビデオの視聴。
- コミュニティ・ディスカッションへの参加。
- サポート・エンジニアとのオンライン・チャット。
- 製品に関する支援サービスの表示。

本製品に使用されているサードパーティ製品

この製品には、以下のサードパーティ製コンポーネントが含まれています。サードパーティのライセンス情報については、<https://www.quest.com/legal/license-agreements.aspx> を参照してください。アスタリスク (*) が付いているコンポーネントのソース・コードについては <https://opensource.quest.com> を参照してください。

表 4. 本製品に使用されているサードパーティ・ソフトウェアのリスト

コンポーネント	ライセンスまたは承認
libcurl 7.46.0	MIT/X 派生 N/A © 1996–2010, Daniel Stenberg. All rights reserved.
OpenSSL 1.0.1j	OpenSSL 1.0 © 1998–2015 The OpenSSL Project. All rights reserved. ライセンスの問題 OpenSSL ツールキットは引き続きデュアル・ライセンス対象です。つまり、OpenSSL ライセンスとオリジナルの SSLeay ライセンスの両方がツールキットに適用されます。実際のライセンスの本文については、以下を参照してください。実際には、両方のライセンスは、BSD 形式のオープン・ソース・ライセンスです。OpenSSL に関連するライセンス問題が発生した場合は、 openssl-core@openssl.org までご連絡ください。 OpenSSL License © 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: <ol style="list-style-type: none">1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.3 All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL プロジェクトで開発されたソフトウェアが含まれています (http://www.openssl.org/)。4 The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. 書面による許可については、openssl-core@openssl.org にお問い合わせください。5 Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.6 Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL プロジェクトで開発されたソフトウェアが含まれています (http://www.openssl.org/)。 <p>THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.</p> <p>This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).</p>

表 4. 本製品に使用されているサードパーティ・ソフトウェアのリスト

コンポーネント	ライセンスまたは承認
OpenSSL 1.0.1j (続く)	<p>Original SSLeay License</p> <p>© 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)</p> <p>All rights reserved.</p> <p>This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).</p> <p>The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.</p> <p>This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).</p> <p>Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.</p> <p>If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.</p> <p>This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.</p> <p>Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. 3 All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The word "cryptographic" can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-). 4 If you include any Windows-specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com). <p>THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.</p> <p>The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]</p>

本書には、著作権によって保護されている機密情報が記載されています。本書に記載されているソフトウェアは、ソフトウェア・ライセンスまたは機密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアは、当該契約の条項に準拠している場合に限り、使用または複製することができます。本書のいかなる部分も日本クエスト・ソフトウェア株式会社の書面による許可なしに、購入者の個人的な使用以外の目的で、複写や記録などの電子的または機械的いかなる形式や手段によっても複製または転送することはできません。

本書には、Quest Software 製品に関連する情報が記載されています。明示的、黙示的、または禁反言などを問わず、本書または Quest Software 製品の販売に関連して、いかなる知的所有権のライセンスも付与されません。本製品の使用許諾契約の契約条件に規定されている場合を除き、QUEST SOFTWAREはいかなる責任も負わず、製品に関連する明示的、黙示的または法律上の保証(商品性、特定の目的に対する適合性、権利を侵害しないことに関する黙示的保証を含む)を否認します。QUEST SOFTWAREは、損害が生じる可能性について報告を受けたとしても、本ドキュメントの使用、または使用できないことから生じるいかなる、直接的、間接的、必然的、懲罰的、特有または偶発的な障害(無期限、利益の損失、事業中断、情報の損失も含む)に対しても責任を負わないものとします。Quest Software は、本書の内容の正確性または完全性について、いかなる表明または保証も行わず、通知なしにいつでも仕様および製品説明を変更する権利を有します。Quest Software は、本書の情報を更新する一切の義務を負いません。

本文書の使用に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本クエスト・ソフトウェア株式会社
宛先: 法律部門
東京都新宿区西新宿6-10-1
日土地西新宿ビル13F

日本国内および海外の事業所の情報に関しては、弊社のWebサイト(<https://www.quest.com/jp-ja>)を参照してください。

特許

高度なテクノロジーはQuest Softwareの誇りです。特許および出願中の特許がこの製品に適用される可能性があります。この製品に適用される特許に関する最新情報については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal>の弊社Webサイトを参照してください。

商標

Quest Software、Quest、Questロゴ、QoreStor、およびNetVaultは、日本クエスト・ソフトウェア株式会社の商標および登録商標です。Questの商標の詳細な一覧については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal/trademark-information.aspx>を参照してください。その他すべての商標および登録商標は各社に帰属します。

凡例

- **警告:** 警告アイコンは、潜在的な資産の損害、個人の負傷または死亡の可能性を表しています。
- ⚠ **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを表しています。
- i **重要、メモ、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、補足的情報を表しています。

